

教科	英語	科目	English Language B	単位	5	年次	2年次
使用教科書	CAMBRIDGE English B for the IB Diploma Coursebook (2nd Edition)						
副教材	Golding, W. (1954). The Lord of the Flies, Penguin Books.						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

この科目は、IBO(国際バカロレア機構)が助言する国際バカロレアのカリキュラムに基づいています。高校2年生の全員がこの科目を2つの異なるレベルで履修します。Higher (IBコースのみ)とStandard (Global CommunicationコースとGlobal Scienceコース)です。この科目は、ネイティブの英語教師が日本人教師のサポートを受けながら指導します。語彙と文法の知識(言語の何たるか)は、聴衆、文脈、目的、意味、バリエーション(言語のなぜ、どのように)を理解することによって強化、拡張されます。決められたテーマには、アイデンティティ、経験、人間の創意工夫、社会組織、地球の共有などがあります。生徒は、規定のテーマに関連したさまざまな種類の本物のテキスト、特にB1レベルのリーディング、リスニングテキスト、ビデオ、記事に触れます。

2. 学習の到達目標

IBコースの生徒はディプロマを取得するためにこの科目を履修する必要がありますが、Global ScienceとGlobal Communicationの生徒は、コース終了時にStandardレベルの証明書を取得することができます。国際感覚を養うことは、このコースの重要な目的のひとつです。Higherレベルでは、英語で書かれた2つの小説を読み、分析します。評価は、ペーパー1(ライティング)、ペーパー2(リーディングとリスニング)、内部評価(スピーキング)の3種類です。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 主 旨	積極的にクラスやグループディスカッションに参加し、高いモチベーションと努力を示し、自分の意見を英語で表現し、クラスメートを助け、設定されたタスクや宿題をすべて完了することが求められます。	生徒はアウトプット/アクティブな能力(ライティングとスピーキングを生み出す)を評価されます。ライティングでは、様々なテキストタイプの慣習(例えば、日記、手紙、エッセイ、ブログなど)を学習します。	受容力・理解力(読解力・聴解力)を測ります。リスニングは、オーディオやビデオの形式で実施します。	生徒は特に語彙や文法など、さまざまな言語の仕組みにおいて評価されます。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> セルフリフレクションシート ピア・リフレクションシート 宿題チェック ノートチェック 教師による努力の観察 授業の参加 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパー1試験(ライティング) ライティングタスクの練習 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパー2試験(読解・聴解) ペーパー2試験の練習(読解・聴解) 聴解問題 読解問題 視聴覚課題 	<ul style="list-style-type: none"> ユニット単語テスト 慣用句テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	Unit 1.3	Identities・アイデンティティ(美と健康)		○		○	このユニットでは、メディアや広告業界がどのように人々の美の定義を形成し、自尊心に影響を与えるのかを学びます。生徒たちは、さまざまな広告を研究し、この論争的になるトピックに関する記事を分析し、正式な手紙の書き方を学びます。	すべてのユニットで、練習と本番の両方を行います：ペーパー1(ライティング*)ペーパー2(リーディング/リスニング)および内部評価(スピーキング*)
5			○		○	*IBO規定のルーブリックに沿って行われます。		
6	Unit 2.1, Unit 2.3	Experiences・体験談(移住、巡礼)			○	○	このユニットでは、世俗的なものであれ、宗教的なものであれ、巡礼に行くことを選択した異なる文化の人々の目的を探ります。マインドマップを見たり、アメリカの退役軍人に関するニュースを見たり、ハッジの巡礼について学んだり、旅行ブログやエッセイを書いたりします。	
7			○	○		○		
8								
9	Unit 3.1, Unit 3.3	Human Ingenuity・人間の創意工夫(未来の人間、アートの再定義)		○	○	○	このユニットでは、クローニング、ナノロボティクス、遺伝子組み換え食品、性別選択という4つのトピックについて学習します。生徒は以下のような様々な本物の資料を見ます。「ガタカ」(映画)、「フレイブ・ニュー・ワールド」(第1章、オルダス・ハクスリー著)、「ワームホールを通った人間のクローン」(サイエンスチャンネル、ビデオ)などです。生徒は自分の発見をクラスで発表します。このユニットの言語の焦点は、モーダル動詞です。	
10			○		○			

11	Unit 4.2, Unit 4.3	Social Organisation・社会組織 (人生のパートナー、仕事の未来)		○		○		このユニットでは、異文化における結婚の意味を探り、スピーチや正式なレポートの書き方を学びます。追加ユニットでは、グローバル化と技術の進歩が雇用保障にどのような影響を与えているかを調べます。言語面では、接続詞と移行語に焦点を当て、生徒たちはインフォグラフィックポスターのサンプルを見て、自分で作成します。
12			○		○	○		
1	Unit 5.2	Sharing the Planet・地球の共有 (気候変動)			○	○		このユニットでは、気候変動の原因と潜在的な解決策を探ります。言語面では、ライティングにおける形式と意味に焦点を当てます。このユニットの終わりには、公式のスピーキングテスト(完了)を行います。
2			○	○		○		
3	Units 1-5	全テーマの見直し			○			5つのテーマのすべてを網羅した模擬試験を実施します。

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元・題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。